

町議会 12月定例会



平成二十一年度一般会計補正予算など 二十七件を可決・同意

平成二十一年第八回町議会定例会が十二月十六日から十九日までの四日間開かれました。

今回の定例会では、平成二十一年度一般会計および特別会計補正予算など二十七件の議案について審議が行われ、いずれも原案どおり可決されました。

町長の行政報告

(一部抜粋)

予約制乗合タクシー

ダイヤ増便等を検討

予約制乗合タクシーについては、十一月末現在で、利用登録者数は三百二十六人、運行実績は運行便数百八十八便、利用者数延べ二百六人であり、六月のアンケート調査に基づき八月からダイヤと運行方法の一部を変更したものの、利用状況は、低迷しておりません。この状況から、ダイヤの増便、予約方法の変更、運賃の改定について検討しており、平成二十一年一月中旬の改正に向け作業を進めております。なお、今後も事業の啓発に努め、利用の促進を図るとともに、利用実態を把握しながらよりよい地域内公共交通システム

ムについて検討を深めてまいります。

公共施設の再編検討について

現在、主な施設の再編計画案を検討、調整しているところですが、今後は、機能廃止後の処分内容や再編実施時期などについて、段階的にご意見をいただきながら検討を深め、年度内には再編計画案を取りまとめたかと考えております。

地上デジタル放送

難視聴地域すべてに組合設置される

地上アナログ放送が二〇一一年七月二十四日までに終了し、地上デジタル放送に移行しますが、新たに七滝地区が難視聴地域となることから、地デジ放送の対応に向けた事業実施とその後同受信施設組合が十月二十三日に発足しました。これにより町内の難視聴四地区すべてに組合が設立されたことになり、二〇一一年七月の地デジ移行対応に向けての事業が展開されることとなります。

後期高齢者制度

制度見直しにも大きな混乱なく

十月から社会保険の被扶養者の方の徴収が開始されております。創設から

これまで、軽減措置など各般の制度見直しがありましたが、さいわい大きな混乱もなく、円滑に賦課徴収が行われております。

また、保険料納付方法については、平成二十一年四月からは、口座振替と年金からの徴収どちらかの選択により保険料が納付できることになりました。口座振替を選択する場合は納付方法の変更手続きなどが必要となりますので、これらの改正について、今後も広報や出前講座などで周知に努めてまいります。

平成二十一年産米に係る諸報告

生産調整対策は、転作実施面積が千九百二十九・六ヘクタールで、達成率百四・九パーセントとなっております。担い手組織等による集積化の状況は、昨年より百五十・五ヘクタール増加の九百三十六・五ヘクタールの取り組みがなされております。

次に、転作の取り組みに交付される平成二十年度の産地づくり交付金についてですが、今年二月に国が緊急に実施した地域水田農業活性化緊急対策により、新たに二百八十八ヘクタールの追加取り組みがなされ、うち百五十・五ヘクタールが大豆や飼料作物などの集積に積極的に取り組んだため、国の交

付予定額四億六千三百三十八万円を上回る取り組み内容になりました。国からの交付金は定額交付ですので、十二月一日に美郷町水田農業推進協議会を開催し、交付単価の減額調整を決定するとともに、十二月十五日付けで全農家に対し、減額の周知をしております。

次に、秋田統計情報センターによる県南地区の作況指数については、好天に恵まれ、病害虫の発生も少なく、県南は百六の良となりました。十二月一日現在の米の出荷状況ですが、美郷町全体では昨年より約四千三百俵少ない三十三万五千四百四十五俵が出荷され、一等米比率は昨年より三・八ポイント上がつて九十八・四パーセントとなっております。

可決・同意された主な議案

●美郷町監査委員の選任について

任期満了に伴い、久米 力氏(後三年)を美郷町監査委員として再任しました。

●美郷町教育委員会委員の選任について

任期満了に伴い、後藤 貴子氏(馬町)、佐藤 孝氏(天神堂)を美郷町教育委員会委員として再任しました。

●人権擁護委員の推薦について

藤井 康子 氏(琴平)を引き続き、人権擁護委員として推薦しました。

●工事請負契約の締結について

美郷町防災行政無線施設整備工事に ついて、指名業者四社の競争入札の結

ります。

うりごめ美郷応援事業

東京都大田区内で美郷米販売開始

九月十六日から三日間、大田区内の米穀販売店九十二店舗を訪問し、美郷米の販売促進活動を実施しております。その結果、二十六店舗で十月中旬から販売が開始され、大田区の消費者に好評を得ております。また、十月一日には大田区に新米三百キログラムを寄贈し、青少年育成団体を通して「心を結ぶ安心美郷米」として、大田区の子ども達に届いております。また、十月、十一月の大田区主催の各種イベントでは、美郷米特設コーナーを開設

果、日本無線株式会社秋田営業所(秋田市)と三億三百四十五万円で工事請負契約を締結することが可決されました。

●平成二十年度美郷町一般会計補正予算第六号

農地の利用集積を維持し、担い手の農業経営基盤の安定化を図るための担い手集積安定化緊急対策に係る補助金(千八百六十万四千円)、千畑温泉保養所の解体に係る工事請負費(八百九十四万六千円)、景気後退による雇用環境の悪化を改善するための中小企業支援事業の拡充に係る補助金(二百八十万円)などについて、歳入歳出それぞれ一億三十七万五千円を補正し、予算総額を百八億九千三百八十万四千円としました。

し、新米試食キャンペーンなど美郷米の知名度アップに努めております。なお、十一月二十六日から二日間、再度、大田区の米穀販売店を訪問し、一層の美郷米PRと市場調査などを実施しております。

千畑地区で新たに一組織

集落営農組織など担い手への支援活動

九月十二日と十一月二十八日に全集落営農組織を対象とした経理指導及び法人化研修会で、担い手アクションサポーターチームによる窓口相談や組織への積極的な訪問指導等を行い、支援活動の充実に向けております。なお、十月に千畑地区で農業生産法人一組織が

●平成二十年度美郷町国民健康保険特別会計補正予算第二号

保険財政共同安定化事業拠出金の追加負担などについて、歳入歳出それぞれ千四百三十万四千円を補正し、予算総額を二十三億三千二百九十五万三千円としました。

●平成二十年度美郷町簡易水道事業特別会計補正予算第四号

千畑東部地区ほか二地区の施設の修繕料などについて、歳入歳出それぞれ二百三十六万千円を補正し、予算総額を六億六千七百八十万五千円としました。

●平成二十年度美郷町下水道事業特別会計補正予算第三号

歳入歳出それぞれ十八万八千円を補

設立されております。

除排雪業務

新たな実施方針で臨む

これまでは基本的に旧町村の体制を引き継ぎ実施してきたところですが、除雪水準の向上などを図るため、今後は、除排雪業務を委託と直営併用方式にすることや業者の除排雪作業評価の実施、美郷町を一つの地域とし除雪路線を設定するなど、新たな実施方針で臨むこととし、今季から着手できる事項には着手することで見直しを図っております。今後、除雪サービスの向上と安全な冬季交通の確保に努めてまいります。

正し、予算総額を二億八千八百八十八万八千円としました。

●平成二十年度美郷町農業集落排水事業特別会計補正予算第四号

歳入歳出それぞれ二百九万二千円を補正し、予算総額を三億三千七十九万千円としました。

●平成二十年度美郷町後期高齢者医療特別会計補正予算第一号

後期高齢者医療広域連合に対する納付金の増額などについて、歳入歳出それぞれ九百三十八千円を補正し、予算総額二億千五百二十二万七千円としました。